



後方支援等人員の確保

後方支援等人員の確保

当時の状況

- 作業員が復旧作業に専念できるよう、北陸電力グループ一体となり本店等の社員を中心に後方支援者を編成し、技術部門をサポートした（延べ1,200名以上が従事）
- 一方で、特に配電部門が必要とした後方支援の業務内容は多岐にわたり、業務量も非常に多かったため、**1.業務内容の調整や、適切な人員の選定・確保に時間を要した**
- また、一部の復旧拠点においては、拠点における後方支援の取りまとめ役である**2.後方支援リーダーの派遣が遅れたため、拠点の配電社員の負担が増大し、復旧に専念できなくなる事態が生じた**

主な対応

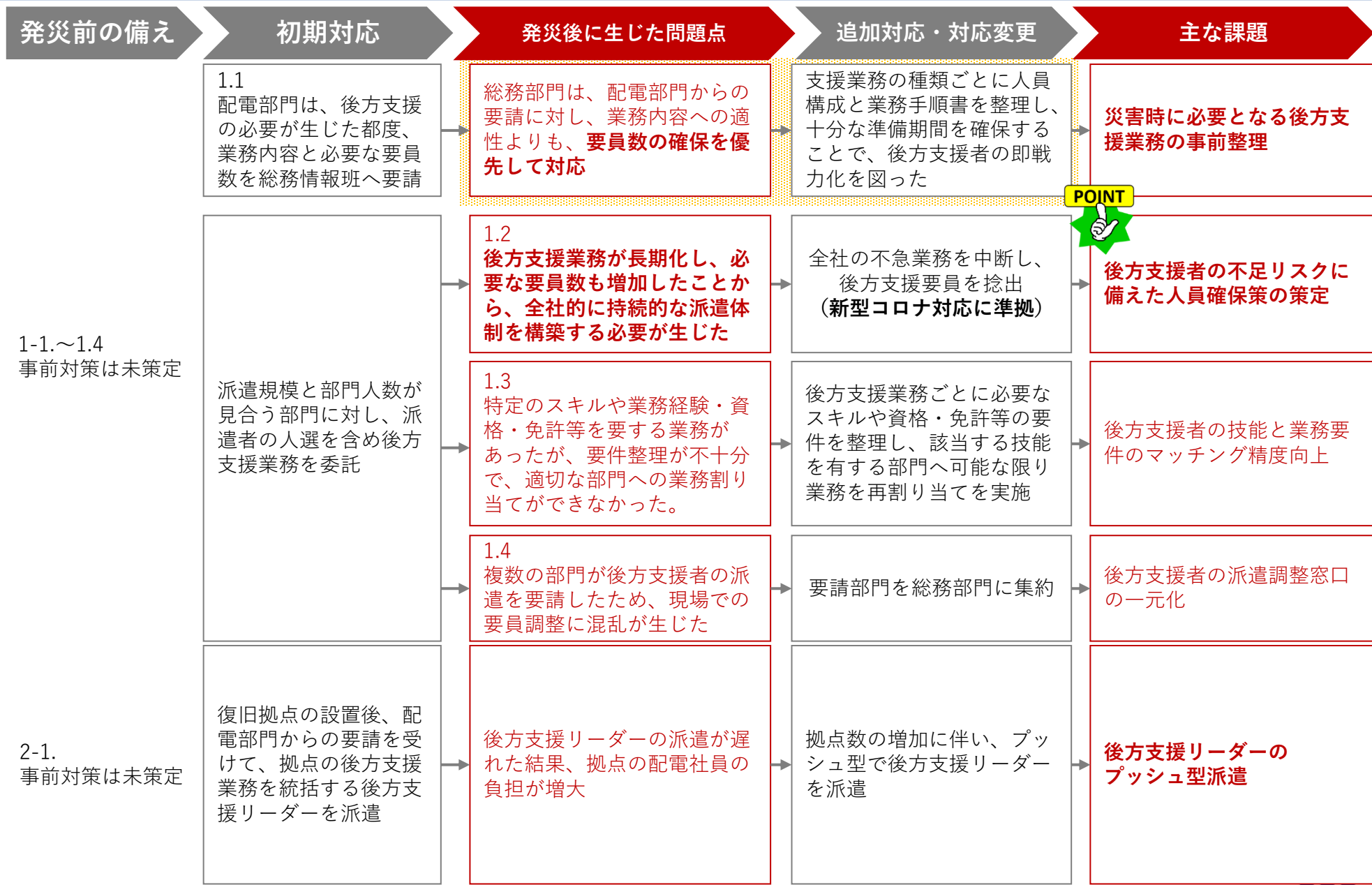
-  **1. 後方支援業務の把握・要員の確保**
- 1-1. 後方支援業務および必要人数の洗い出し
 - 1-2. 後方支援者の確保
 - 1-3. 各後方支援に対する後方支援者の割り当て
 - 1-4. 後方支援取りまとめ部門の一元化
-
-  **2. 後方支援者の派遣・運用**
- 2-1. 後方支援リーダーのプッシュ型派遣



後方支援の様子（メーター被害状況確認）

1 後方支援業務の把握・要員確保

2 後方支援の運用



後方支援等人員の確保

1-1.後方支援業務および必要人数の洗い出し

課題

- 災害時に必要となる後方支援業務の事前整理

対策

- 災害時に想定される後方支援業務およびその遂行に必要なスキル・経験をあらかじめ洗い出したうえで、後方支援者向けマニュアルを作成
→社内規則（後方支援に関する業務指針）の制定（2025年7月制定）

1-2.後方支援者の確保

課題

- 後方支援者の不足リスクに備えた人員確保策の策定

POINT



対策

- 大規模災害時に後方支援者が大人数かつ長期間にわたって必要となる場合には、緊急性の低い業務を一時中断し、後方支援者を確保
→災害対応マニュアル（総務情報班）に記載
- 業務中断をしても後方支援の要員が不足する事態に備え、グループ会社からの応援受入の実現可能性を確認
→関連諸法令の洗い出しと実現可能性の精査

1-3.各後方支援に対する後方支援者の割り当て

課題

- 後方支援者のスキル等と業務要件のマッチング精度向上

対策

- 後方支援者の年齢・性別・資格・業務経験（災害対応経験）等の情報を一元管理するデータベースを構築し、後方支援の業務内容と照合することで、適切な人員を迅速に選定できる仕組みを整える
→後方支援候補者選定用の社内データベースの整備

1-4.後方支援取りまとめ部門の一元化

課題

- 後方支援者の派遣調整窓口の一元化

対策

- 後方支援者の派遣調整窓口を一本化する社内ルールを制定
→社内規則（後方支援に関する業務指針）の制定（2025年7月制定）

2-1.後方支援リーダーのプッシュ型派遣

課題

- 後方支援リーダーのプッシュ型派遣

対策

- 復旧拠点設置と同時に後方支援リーダーおよびサポート者をプッシュ型で派遣する旨を社内ルールへ明記
→社内規則（後方支援に関する業務指針）の制定（2025年7月制定）